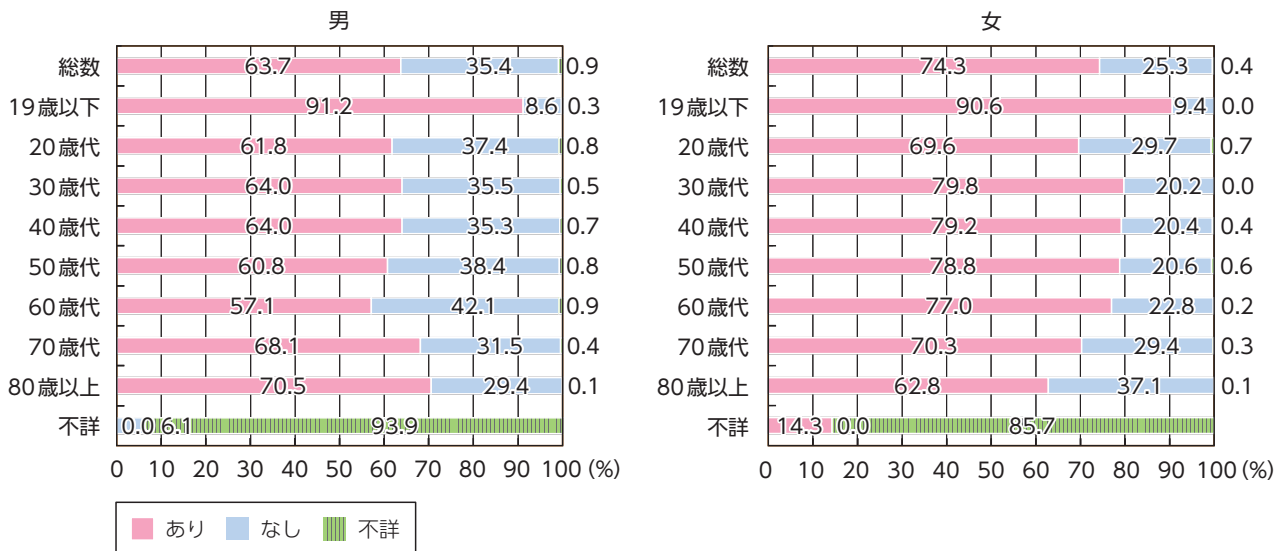


7 同居人・配偶関係別の自殺の状況

平成29年における同居人別の自殺の状況について、自殺統計によれば（第1-33図）、男

女とも、全ての年齢階級で、同居人「あり」が多くなっている。

第1-33図 平成29年における同居人の状況別自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

次に、平成28年における配偶関係別の自殺死亡率の状況を見ると（第1-34表）、男女とも「有配偶者」は全ての年齢階級で各年代別の総

数よりも低くなっている一方、「未婚」、「死別」、「離別」は各年代別の総数よりも高くなっている。特に、男性の「離別」が高くなっている。

第1-34表 平成28年における配偶関係別の自殺死亡率(配偶関係別人口10万人当たり)の状況

年齢階級	男					
	総数 ¹⁾	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
総数 ²⁾	27.5	25.7	24.9	29.2	33.4	28.8
有配偶者	18.5	11.9	11.5	15.7	20.4	21.4
未婚	34.3	29.1	39.3	45.8	54.8	55.4
死別	53.0	—	136.7	95.1	73.6	51.0
離別	106.7	170.2	131.6	128.6	119.3	80.9

年齢階級	女					
	総数 ¹⁾	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
総数 ²⁾	11.2	9.0	9.5	10.1	12.5	13.1
有配偶者	8.3	4.5	5.0	6.3	9.9	10.4
未婚	12.2	10.2	16.9	17.5	20.3	18.0
死別	16.3	—	18.7	14.6	19.8	16.2
離別	24.5	40.1	29.3	27.7	22.6	21.5

注：1) 総数には15～19歳及び年齢不詳を含む。

2) 総数には配偶関係不詳を含む。

資料：厚生労働省「人口動態統計」及び国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2017改訂版）」より厚生労働省自殺対策推進室作成